

(仮訳)

## 議長サマリー

### 第3回アジアグリーン成長パートナーシップ閣僚会合

東京、2023年9月25日

第3回アジアグリーン成長パートナーシップ閣僚会合は、2023年9月25日、「エネルギートランジションに向けた政策・金融・産業・研究機関の連携強化」をテーマに東京で開催され、西村康稔経済産業大臣が議長を務めた。

アジアの多様な地理的条件と多様なエネルギー需要を踏まえ、参加者は、同地域の脱炭素化と持続可能な成長の両立の重要性を認識し、同地域において十分な情報を提供しつつ、グリーンで現実的かつ効果的なエネルギートランジションを支援するとの共通の決意を表明した。

参加者は、アジアにおけるエネルギートランジションを加速させるためのトランジション・ファイナンスの重要性やグローバルな金融市場において、信頼できるトランジション計画や科学的かつ定量的な道筋に対する期待が高まっていることを確認した。

また、参加者は、金融庁によるアジアGXハブ・イニシアティブやアジア・トランジション・ファイナンス・スタディグループ(ATFSG)によるアジア・トランジション・ファイナンスガイドライン及び年次報告書、ASEAN・東アジア経済研究所(ERIA)によるアジアにおけるトランジション・ファイナンスのための技術リストおよび展望、ASEANタクソノミーボード(ATB)による持続可能なファイナンスのためのASEANタクソノミー、国際資本市場協会(ICMA)による気候トランジションファイナンスハンドブックなど、官民両セクターによる様々な取組を歓迎した。

さらに、グリーン経済と持続可能な開発に向けた複雑で多面的な課題に取り組むためには、公的機関、民間企業、金融機関など幅広いセクター間の対話が必要であること、また、多様で現実的な視点を提供するだけでなく、ステークホルダー間の協力を促すファシリテーターとしての研究機関の潜在的な役割が認識された。

参加者は、アジアにおける公平・公正なエネルギートランジションのさらなる発展への期待を表明し、政府、民間金融機関、一般市民の利益のバランスをとりながら、必要な資金が供給される市場を創出し、アジア地域にとってより持続可能で包括的なエネルギーの未来を実現するために力を合わせたいという意思を表明した。